



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名

株式会社山陰放送

所在地

鳥取県米子市西福原 1-1-71

代表者

代表取締役社長 坂口 吉平

業種

基幹放送事業

事業概要

テレビ・ラジオを中心とする民間の地上波の放送事業を行っています。

<2030 年に目指す姿>

基幹放送事業者である当社は、ラジオとテレビによる情報発信、地域における活動を通して、地域に SDGs を浸透させ、地域から地球規模での 17 ゴールの達成を目指しています。

地域への浸透とは、地域で暮らす人々が個人レベルで日常生活に SDGs を落とし込んで行動することをイメージしています。例えば、商品の購買時には、廃棄の事まで考えた購買行動を行うように、現在に未来を落とし込んで行動する観念を個人レベルで抱き、各自の行動に落とし込んで頂くことが理想の形です。

自社の企業理念は、「創造×想像=！」です。わたしたちの創り出す「！」で地域に信頼され地域の礎となり地域の原動力となることを目指しています。SDGs の達成に関してもこの理念に沿った提案や取組を進めていきます。

<目指す姿の実現に向けた重点的な取組>

社会8：社会配慮型商品・サービスの提供

<重点的な取組推進時のインパクト（正の影響、負の影響）の分析・考察>

地域社会へ幅広く偏ることなく SDGs を広めるという考えのもと取り組んでいます。

しかし、社会、経済、環境にかかわる、17 項目、169 のターゲットを取り上げることは、長時間にわたる放送時間が必要となります。

その放送を維持するにあたっては、多くの制作費がかかることになる上、本来は有料の放送枠を使用しての無料放送となるため、収益性の低下という懸念もあります。

また、多ジャンルについて放送するには、様々な多岐に渡る取材をもとに制作を行うため、その取材活動と経験が、制作力の向上につながるようになる半面、業務効率の低下も懸念しています。

取組	正の影響 主なキーワード	負の影響 主なキーワード
幅広く SDGs を広める	地域社会への貢献 制作力の向上	収益性低下 業務効率低下

社会(1/2) : 株式会社山陰放送

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
労働災害の防止	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月無事故の日を策定し、無事故への意識向上を実施している。 ・労働者のストレス軽減のため、月一回社内にヨガインストラクターを招き、ランチタイムを利用したヨガ教室を実施している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>労働災害0を目指す。(R4 年以後毎年達成)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内の設置物を安全に配慮した位置に置くことや、段差をなくし躓き防止を徹底していく。また従業員の不用意な服装や動きにより労災となることが多いため、滑りにくい靴を履くことを推奨するなど、労働災害の防止策を行う。
ハラスメントの防止	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員からの相談に対しては、ヘルプライン窓口(相談窓口、通報窓口)を設けている。規程を整備し、ヘルプラインに係る手続きを明文化し、社内へ周知している。 ・現従業員に対してはハラスメント研修を実施しているので、新入社員が入った際には、ハラスメントに関する研修時間をとり、ハラスメントの防止が浸透するよう取り組んでいる。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>ハラスメント0を目指す。(R4 年以後毎年達成)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでにハラスメント研修は全社員に行っているが、もしハラスメント事案が発生するようであれば、再度ハラスメント防止に向けた研修を開催する。
女性の活躍	<p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 27.6%(R4年 3 月時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 13.2%(R4年 3 月 時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与を含め、勤務条件において、男女の区別はついていない。もともと能力主義で採用、評価を行っており、現常勤役員 3 名中 2 名が女性。 ・直近の 5 年間の採用人数における女性の割合は 40% ・女性の活躍を妨げないよう、産休・育休制度の充実(出産後はすぐに復帰ではなく、生後 1 歳頃までとることが当たり前という雰囲気の醸成)など女性の離職の契機を極力発生させないよう取り組んでいる。 ・東京大阪広島など大都市の営業支社への転勤も男女問わず行い、男女問わず、営業経験の向上を図り、女性の活躍の場を狭めないよう配慮している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 30%(R7年 3 月時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 15%(R7 年 3 月時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>もともと能力重視であり、性別は関係ないが、これまで通り能力主義で採用と評価を行う。</p>
多様な人材の活躍	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非正規雇用者(既に社内で従業している方)を対象として正社員の採用試験を実施して、正規雇用への転換を図っている。 ・他社に先駆けて、2017 年に視覚障がい者を雇用し、現在も継続雇用している。この件は県内から問い合わせや見学の申込みがあり、視覚障がい者の新しい雇用の場として認知されつつあると感じている。 ・中途採用時には、能力重視で、新卒以後何年までなどという縛りは付けず、就職氷河期であろうが、能力重視で採用を検討している。 ・勤務地希望の要望に応えるために、総合職、地域限定職採用枠を設けている。 ・視覚障がい者の休憩スペースの確保、食事の注文・配膳のサポート、帰宅時には、社員がバス停まで同行するなど、働きやすさを考えたサポート体制を整えている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者がいる限り非正規雇用者から正規雇用者の転換試験を行う。(R4 年以後毎年達成) ・中途採用試験を行った際には、引き続き能力重視で、男・女・就職氷河期世代などの世代・障がい者を問わず採用の検討を行う。(R4 年以後毎年達成) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非正規雇用者から正社員への採用試験を実施し、非正規社員の正規雇用への転換を図っていく。 ・盲学校へリクルート案内を出す。 中途募集時には年齢の縛りを設ける案内は出さず、能力ある様々な方に採用試験を受けていただけるよう配慮する。

社会(2/2) : 株式会社山陰放送

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
多様な働き方の促進	<p>【主な取組】</p> <p>就業規則内に副業兼業の条項を設けて、規程を整備している。</p> <p>新型コロナウイルス対策として時差出勤やリモート勤務を導入した。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>社会情勢の変化に対応できるよう就業規則や働き方の見直しの検討を行い、必要に応じて改良を重ねていく。(R4 年以後毎年達成)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>実施が可能な部署におけるフレックスタイムの導入の検討等を進めていく。</p> <p>リモート勤務に対応できる機材の更なる配備や体制の検討を行っていく。</p>
労働者への人権配慮	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働基準法、労働安全衛生法、労働安全衛生施行規則に基づく労働条件の確保をおこなっている。 月 1 回、労使間で社内の職場環境についての意見交換を行い職場環境の改善に努めている。 従業員へアンケート調査を行い、職場の働きやすさの向上を検証している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>法律に基づく労働条件の確保を継続していくと共に職場環境の改善も推進していく。(R4 年以後毎年達成)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員アンケート調査結果をもとに働きやすい職場づくりを推進していく。
社会配慮型商品・サービスの提供	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手話を入れた番組の制作、放送をおこなっている。 字幕を入れた番組の制作、放送をおこなっている。 視聴者・聴取者・一般の方からの問合せ対応を WEB・電話にておこなっている。 テレビとラジオを通じて、地域や世の中で起こっている社会経済環境の諸課題を積極的に視聴者・聴取者に伝え、問題提起を行い、考え、行動して頂くきっかけ作りを行っている。 SDGsWEEK と称し、春と秋に 1 週間ずつ、ラジオ、テレビ、イベントにより SDGs を集中的に取り上げた。また、川と山のカーボンニュートラルについて考える放送と連動したイベントを実施した。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手話・字幕の取り組みを行える番組や手段を検証し、引き続き放送する。(R4 年以後毎年達成) <p>毎年、テレビ・ラジオ・イベント等を通じて、地域や世の中でその時に起こっている社会の諸課題を積極的に視聴者・聴取者に伝え、問題提起を行い、考え、行動して頂くきっかけ作りを行っていく。(R4 年以後毎年達成)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手話・字幕に関しては、テレビだけではなく、ネット動画にも取り組みを広げていく。 障がいのある方に番組のモニターをしていただき、その結果を活かす多くの方に理解いただける番組制作を行う。 常に社員それぞれが自身のアンテナを広げると共に放送事業者としての意識をもって考え、行動していく。
地産地消	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元事業者との優先的な取引を実施している。(地元広告主からの商品購入協力依頼に社・社員それぞれ協力している。) ランチタイムに地元の農家の野菜販売会を毎週実施している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>引き続き地産地消を行う。(R4 年以後毎年達成)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>地元の農家の物品販売を継続して行っていくと共に新規出店希望社があれば、可能であれば受け入れる。</p>
地域社会への貢献	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康ウォーキング大会の企画・運営 赤い羽根・緑の募金など、地元還元できる募金団体へ社として募金を行っている。 地域活性化のために主催事業イベントを実施している。 山陰に生まれてきた赤ちゃんに無料でプレゼントを贈る「はじめてばこ企画」、小学生に地元企業で職場体験を行う「未来キッズプロジェクト」、高校生に発明する楽しさを学び、未来を創り、世界を変える体験をしてもらう「発明楽コンテスト」を実施し、地域で生まれた子供たちが地域を愛し、地域を活性化させる取り組みを実施している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>今後も主催事業イベントを実施し、地域外に行かなくとも地域内で地域外同様の体験ができる場を提供することで地域社会の活性化を行う。(R4 年以後毎年達成)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>全国の他地区で行われている地域活性化イベント情報・企画を収集し、地域内で実施できないか検討するために、他地区の会社と情報交換会議を行う。</p>

経済(1/2) : 株式会社山陰放送

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
事業継続計画(BCP)の策定	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県のBCP策定プログラムを利用し、事業継続計画を策定した。 ・感染症対策BCPを策定した。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPについては、人事異動に伴う組織変更ごとに、新しい組織にあったものに更新していく。(R4 年以後毎年達成) ・感染症対策はレベルごとに対応できるようスピード感をもって常に更新する。(R4 年以後毎年達成) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新のBCP策定セミナーに積極的に参加し、自社のBCPを最新の情勢に対応できるようアップデートしていく予定。
セキュリティ対策	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員のセキュリティ対策へのリテラシーを高めるために、ウイルスメールの抜き打ち訓練の実施している。 ・マルウェアなどの最新状況についての情報共有している。 ・社内への入出館に電子セキュリティシステムを導入している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ事故 0 を目指す。(R4 年以後毎年達成) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員のセキュリティ対策へのリテラシーを向上させる。 ・ウイルス感染しても情報流失を最小限に食い止めるシステムを検討、導入していく予定。
法令順守の取組の徹底	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス室を設け、内部通報制度を整備し、コンプライアンス違反の早期発見、未然防止の体制を整備している。 ・社内規定を社員限定の WEB サイトに掲載し、社内でも共有している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス違反 0 を目指す。(R4 年以後毎年達成) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の体制を維持すると共に違反者が出た場合やその恐れがある場合には、専門家によるセミナーなど教育機会を設けることで、法令順守が的確に行われ続ける様、取り組んでいく。
情報公開	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスコミ各社の記者クラブへプレスリリースを行うことで事業活動の積極的公開をおこなっている。 ・WEBページや自社の放送を使用した情報公開をおこなっている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き記者クラブへのプレスリリースを行いマスコミ各社を経由し広く事業活動公開を行う。(R4 年以後毎年達成) ・これまでの情報公開方法では届きにくかった層へのリーチを広げていく。(R4 年以後毎年達成) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しいWEBメディアやSNSを活用し、新しい層への情報の伝達を行う。

経済(2/2) : 株式会社山陰放送

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
コロナなどの市場変化を見据えた対応	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業先・市場のコロナへの影響調査を随時おこなっている。 ・金融商品の運用による利益の最大化を図っている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年以内にコロナ時の売上減を取り戻す。また、それ以上の売り上げ確保を目指す。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送外の異業種(介護系のDX化事業)への参入による、業務拡大を行う。 ・ライフスタイルの変化に伴う、情報伝達手段の変化(アプリ、様々なインターネット系ツールなど)へ収益化を強化し放送外の収入の強化に取り組む。
自社以外の経営資源活用	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送事業者間の社外ネットワークを活かし、コンテンツや情報の共有、交換を行っている。 ・島根大学大学院の松本教授に社でSDGsを取り扱う際の監修をお願いしており、SDGsについて間違った発信をしないよう取り組んでいる。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 左記取り組みを積極的に継続していくとともに、内容のアップグレード、交換数の増加を目指していく。(R4年以後毎年達成) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常に現在の取り組みを検証し、アップグレードできるような模索していく。 ・これまで組んだことのない放送局との連携を行う番組企画の立案を行う。
デジタル化による生産性向上	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内ネットワークを導入し運用している。 ・広告代理店や他の放送局とEDI連携や放送回線を利用し放送素材やデータのやり取りを行い生産性の向上を行っている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年以内に会計システムを中心にDX化を実施し、生産性の向上を図る。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> さらなる効率的な業務フローを構築していくべく、自社にてシステムを開発していくと共に社外のシステムの導入と更新を検討していく。
雇用の維持・拡大	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職後のミスマッチが起きない仕組みとして、入社前の段階で内定者と入社歴の若い社員との交流会を実施している。 ・社員募集CMを制作、OALし、雇用の維持拡大を図っている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社の現事業の雇用数を維持するとともに、2030年までには、事業を拡大し、新たな雇用を創出し、雇用数の拡大を狙っていく。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異業種への参入を行い、業務を拡大する。 ・ライフスタイルの変化に伴う、情報伝達手段の変化への対応するために、様々なリクルートサイトを利用する。
人材育成・能力開発	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブローテーションによる社員のスキルアップを実施している。 ・定期的に社員研修・管理職研修を実施している。 ・大手eラーニング研修制度を利用し、社員が好きな時に好きな研修を出来る機会を提供している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のような状態でも、毎年、社員の研修機会を減らさず、社員の能力開発に繋げる。(R4年以後毎年達成) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務調査を行い、無駄な業務や重複する業務を洗い出し、業務フローの効率化を図り、スキルアップをおこなっていく。 ・研修手法を模索するとともに、あわせてWEBを利用した研修を推奨することにより、研修機会を増やす。

環境(1/3)：株式会社山陰放送

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
気候変動リスク／環境負荷リスク・機会の分析・対策		
自然環境の変化が経営にもたらす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常気象により豪雨、台風などが多くなれば、山地にある送信所で停電のリスクが高まり、停波による放送事故発生による経営への影響が懸念される。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停電に備え、無停電電源装置や発電機を配備している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常気象時に対応できる体制を維持・更新していく。(R4 年以後毎年達成) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無停電電源装置や発電機などの保守点検、設備更新を定期的実施する。
社会・制度の変化が経営にもたらす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出量の報告義務の強化により排出量の抑制を求められている。 ・SDGsへの取り組み度合いが顧客や採用活動時に評価されている。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用促進やエコドライブ推進など、事業活動における環境負荷低減をおこなっている。 ・顧客や自社の採用試験を受ける方に自社がしっかりとSDGsに取り組んでいることを理解していただく。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社のSDGsの取り組みを増やしていく。(R4 年以後毎年達成) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携社との共同の新しい気候変動対策キャンペーンを開始することで、自社・自社の社員が率先してSDGsに取り組む意識を高めると共に、SDGsの取り組みを進めていることの浸透を図る。
自社の事業活動が引き起こす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活動に伴う廃棄物の処理・リサイクルが法律により厳格化されることで、処理コストの増加など負担が増える。 ・空調フロンが法律により厳格化されたことで、厳密な点検管理が求められる。 ・現時点で新型コロナまん延防止対策のため、換気を積極的におこなっていることに伴う環境負荷の上昇が考えられる。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引業者に使用料明細の提出やマニュアルの提出を求めるなど法律に沿った対応ができるように配慮している。 ・新型コロナまん延防止対策のため、換気を積極的におこなっていることによる環境負荷上昇を少しでも抑えるために、使用状況に合わせたこまめな電源のON/OFFをおこなっている。併せて換気フィルターの交換頻度を四半期に一度に設定し、少しでも環境負荷を減らせるよう取り組んでいる。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社活動の引き起こす影響を毎年分析し、外部に対し適切な対応を行っていく。(R4 年以後毎年達成) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会制度の変化に適正に対応できるよう社内や社外との連携を推進すべく、取引業者と定期的に意見・情報交換会議を行う。

環境(2/3) : 株式会社山陰放送

	取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
カーボンニュートラル			
	<p><省エネ> 燃料消費量の削減</p>	<p><KPI> CO2 排出量 72.7 t-CO2/年(R3 年時点)</p> <p>【主な取組】 ・導入前と比べて約 10 トンのCO2 排出量削減を達成した高効率空調機を運用している。 ・車両更新時には燃費性能の優れた車両に更新している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2 排出量 70.0 t-CO2/年(R4 時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・社内に高効率空調機を導入しているため、社員の運用の仕方ですらなる効率化を行うため、社内に環境配慮行動を促すポスターをはるなどの環境配慮型の行動を促すキャンペーンを実施する。 ・車両更新時にはより燃費性能高い車両へ更新する。</p>
	<p><省エネ> 電力消費量の削減</p>	<p><KPI> CO2 排出量 520.7 t-CO2/年(R3 年 時点)</p> <p>【主な取組】 ・BEMS による館内のエネルギー使用量の把握・データ集積。 ・デマンド管理によるピーク電力の抑制をおこなっている。 ・高効率空調・LED 照明・人感センサーなど省エネ機器を導入している。 ・放送システムの高効率・省エネ機器への更新。 ・社屋の屋根塗装に遮熱性の高い塗装材を採用している。 ・空調機器の適切な維持管理(定期的なフィルター清掃など) ・省エネ・節電の呼びかけを行っている。 ・クールビズ・ウォームビズの取り組みを毎年実施している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2 排出量 500 t-CO2/年(R4 時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・機器・設備更新時には、より省エネ性能が高いものへの更新を行うことにしている。現在はエネルギー消費の大きいスタジオについて、省エネ照明・空調設備への更新を検討している。</p>

環境(3/3) : 株式会社山陰放送

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
廃棄物の削減	<p><KPI> 総廃棄物発生量 20t/年(R3年時点)</p> <p>【主な取組】 ・オフィスごみの細分別リサイクルを推進している。 ・グリーン調達の推進を行っている。 ・ペーパーレスの推進を行っている。 ・廃棄物の適正管理・発生数量の把握を行っている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 <KPI> 総廃棄物発生量 17t/年(R6年時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・更なるDX化によるペーパーレスを推進する。 ・事業系廃棄物のリサイクル率を更に上げていく。</p>
水資源の適正な管理	<p>【主な取組】 ・水の使用量を計測している。 ・衛生設備に更新時、水道の年間使用料を1/3に削減した節水型の衛生設備を運用している。 ・散水・融雪には井水を利用している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 毎年、前年に比べ節水量を増加させる。(R4年以後毎年達成)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 節水を呼び掛けるポスター掲示など、節水キャンペーンを継続展開していく。</p>
環境配慮型商品・サービスの提供	<p>【主な取組】 ・自社キャラクター「ラッテちゃん」をデザインしたエコバック(環境配慮型商品であるエコマーク付き)を企画・販売し、エコバックの使用を推進している。 ・社有地に全量売電のメガソーラーを建設し、年間発電量 1,840MWh 年間 1200トンのCO2削減に寄与している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 エコバックの販売数を増やし、購入者の環境配慮意識を高める。 (R4年以後毎年達成) ・太陽光発電事業を継続し、再生エネルギーによるカーボンニュートラルに貢献し続ける。 (R4年以後毎年達成)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 エコバックの認知を上げるために、エコバックのメディア露出を増やす。 ・メガソーラーの、保守を怠らない。</p>
環境面での社会貢献	<p>【主な取組】 ・社屋周辺の道路(ラッテちゃんボランティアロード)の定期的な美化清掃を実施。年5回以上10年間継続実施していることが評価され国土交通省より中国国土交通省局長表彰を受賞した。 ・大山にある社有林を森林保全ボランティア活動の場所として提供し、その活動の運営と周知を実施。 ・会社として地域の清掃ボランティアに参加。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 ・ラッテちゃんボランティアロードの美化清掃活動を引き続き継続し、2030年までにさらに上の賞となる国土交通大臣賞の受賞を目指す。 ・社有林を含めた森を守り、育てる活動を継続していく。(R4年以後毎年達成) ・毎年、地域の環境保全活動に会社として参画する。(R4年以後毎年達成)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・社内の広報活動を強化するとともに、参加者に偏りがでないよう社内の募集告知方法に変化をつける。</p>